

ぼくはきみ。おはなしの世界へようこそ。

# ふたごの星

落ちながら  
しっかりと  
たがいのひじを  
つかみました。

ふたりは  
青黒い空を  
まっすぐに  
落ちました。

このふたごの  
お星さまは  
どこまでも一緒に  
落ちようとしたのです。

2012年  
9月26日

水曜日

茅野市民館  
マルチホール

Open18:30

Start19:00

茅野市内全小学4年生の招待公演  
13:30からあります

主催=NPO 法人劇場創造ネットワーク/座・高円寺

平成24年度文化庁優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業

共同主催=茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造

後援=茅野市、茅野市教育委員会、信濃毎日新聞社、長野日報社、信州・市民新聞グループ(7紙)、  
長野エフエム放送株式会社、エルシービー株式会社、株式会社長野こまち、株式会社まちなみカント  
リーブレス、月刊ぶらざ、東日本鉄道株式会社長野支社、信州諏訪農業協同組合、諏訪地方観光連盟、  
茅野商工会議所、株式会社信毎販売センター、EVENT-NAGANO

協力=NPO 法人サポートC

座 高円寺  
ZAKOENJI PUBLIC THEATRE



もっとながる、  
もっひろがる。

天の川の西の岸、水晶(すいしょう)のできたちいさなお宮に  
 チュンセ童子とポウセ童子というふたごのお星さまが住んでいます。  
 毎晩お宮の前に座って、一晩中、星めぐりの歌にあわせて笛を吹くのがふ  
 たりの役目。ある朝、役目を終えた二人が、空の泉に遊びに行くと、大鳥が泉  
 の水を飲みに来ました。そこへ乱暴者の蠅(さそり)もやってきて……。夏の夜。  
 一つまた一つと星が輝きだします。このお芝居では、「ぼく」が、星たちの声に  
 誘われて『ふたごの星』のお話を旅します。チュンセ童子とポウセ童子のシンプ  
 ルなお話の中に、しあわせってなんだろう、やさしさってなんだろう、正しいって  
 なんだろう……もしかしたらいつもは隠れて見えないかもしれない、深く大切な  
 問いかけがあちこちに散りばめられています。



写真：久塚真央

原作：宮沢賢治  
 脚本・演出：佐藤信  
 美術：tupera tupera  
 音楽：KONTA  
 照明：齋藤茂男  
 音響：島猛  
 衣装：STORE  
 小道具：ゼペット  
 舞台監督：荒智司



出演  
 久保恒雄  
 重盛次郎  
 北川響  
 服部容子



## 演出 佐藤信

劇作家、演出家。66年に「アンダーグラウンド・シアター自由劇場」の結成に加わり活動を始める。70年に「黒色テント68/78」(現、劇団黒テント)を立ち上げ、同劇団の作、演出を担当、以後20年間、全国120都市におよぶ大型テントでの移動公演を継続。80年代より東南アジアを中心に海外の現代演劇との交流を深める。劇団を中心にした演劇活動のほかに、オペラ、舞踊、結城座の糸操り人形芝居、ショーやレビューと、さまざまな分野の舞台作りに参加。「アジア演劇」「演劇の公共性」「演劇と教育」など、演劇と社会の境界をめぐる発言と実践をつづけている。97年～2002年に世田谷パブリックシアター劇場監督。現在、座・高円寺の芸術監督を務める。また、個人劇団「鴉座」を主宰。

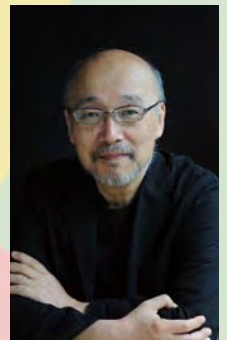


Photo by Katsu Miyachi

## 2012年9月26日(水)

Open18:30 Start19:00

会場：茅野市民館 マルチホール

茅野市内全小学4年生対象の招待公演が13:30からあります。

■チケット発売日：2012年8月3日(金)

■チケット取り扱い：茅野市民館 tel.0266-82-8222 (9:00～20:00 火曜休館)  
 NPO法人サポートC事務局(茅野市民館内) tel.0266-82-8230

茅野市：シマダヤ楽器店、ベレックLCV、平安堂茅野店

富士見町：今井書店ふじみ店 諏訪市：平安堂諏訪店 岡谷市：笠原書店本店

松本市：松本井上プレイガイド

【インターネットチケット取り扱い】EVENT-NAGANO (<http://event-nagano.net/>)

■チケット料金：全席自由(当日各200円増し)

大人(18歳以上)2,000円 子ども1,000円 未就学児500円

■茅野市民館友の会チケット料金：全席自由(前売りのみ)

大人(18歳以上)1,500円 子ども500円 未就学児300円

■上演時間：約50分

■お問合せ

茅野市民館 長野県茅野市塚原一丁目1番1号

tel 0266-82-8222 fax 0266-82-8223 (受付時間9:00～20:00 火曜休館)

Design by Kikuno Jimbo

